

28. 糖尿病血管合併症と耳朶皺襞の関連に関する後向き解析

研究の概要

糖尿病合併症の予防は糖尿病治療において最も重要な目的の一つです。糖尿病合併症の予防のためには、適切な血糖管理や脂質異常症をはじめとした他の危険因子の管理とともに、糖尿病合併症の発症の有無や進行度を正確に評価する必要があります。

糖尿病血管合併症は大きく二つに分けられます。一つは細小血管合併症と呼ばれており、この中には網膜症、腎症、神経障害があります。糖尿病の発症がない限り発症しない合併症で、糖尿病に特有の合併症と呼ばれています。もう一つは大血管合併症(動脈硬化症)です。狭心症、脳血管障害、末梢動脈疾患などが含まれ、糖尿病でない方にも認められますが、糖尿病の患者さんでは糖尿病でない方に比べ、その発症率が数倍高いといわれています。

ところで、患者さんを診察した時に、耳朶(たぶ)を後下方に走る深い皺(しわ)を認めることがあります。この身体所見を私たちは耳朶皺襞(じだすうへき)と呼んでおり、以前より、冠動脈疾患(狭心症や心筋梗塞)の発症と関連することが報告されていました。

しかし、糖尿病患者でも耳朶皺襞が冠動脈疾患と関連するのか、冠動脈疾患以外の動脈硬化性疾患(脳血管障害や下肢動脈疾患)と関連するのかについてはあまり知られていません。また細小血管合併症については耳朶皺襞と網膜症の関連は認められなかったとの海外の報告がいくつかありますが、日本人での報告や網膜症以外の細小血管合併症との関連についての報告はないようです。

研究の目的と方法

今回の研究では、当院、糖尿病・内分泌内科に入院歴のある2型糖尿病の患者さんのカルテのデータを解析し、耳朶皺襞の有無と動脈硬化症および細小血管合併症の関連について後向き解析を行います。

本研究の参加について

本研究により患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、

その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ（問診記録、身体所見、検査データ）を用いて実施する研究です。研究対象者（患者さん）の個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報は特定されません。

調査期間

調査対象期間：2017年9月1日～2018年8月31日

研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

研究代表者

糖尿病・内分泌内科 西川武志

当院における研究責任者

糖尿病・内分泌内科 西川武志

問い合わせ先

糖尿病・内分泌内科 西川武志

TEL: 096-353-6501